

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551) 6215~9
ロシア東欧経済研究所 [購読料・送料共前納 1ヶ月-1,500円 1ヶ年-18,000円]

1996年(平成8年)7月15日 No. 1028

目次

ロシア大統領選における「政」と「財」	1
A. ズージン氏(政治工学センター)へのインタビュー	
シリーズ ロシア大統領選を追う(最終回)	7
キーパーソン	10
統計速報(1996年1~5月の日本の対CIS・東欧主要国貿易)	11
CIS諸国通貨の最新為替レート	11

ロシア大統領選における「政」と「財」

A. ズージン氏(政治工学センター)へのインタビュー

はじめに 市場経済化の進展に伴い、ロシアにも「財界」が誕生している。政治的な影響力を身につけた財界が、今回の大統領選でどのように立ち回ったかは、きわめて興味深いテーマである。

そこで当研究所ではエリツイン大統領の再選が決まった直後の7月8日、ロシアの「政治工学センター」の政治調査部長であるA. ズージン氏(ZUDIN, Aleksei Yurievich)にインタビューを行った。同氏は、1995年にドイツのエーベルト財団からの委託により「ポスト共産主義のロシアにおけるビジネスと政治」という報告書を取りまとめており、ロシアの政と財の問題に関する第一人者といえる。インタビューでは、ロシアの財界の現状、大統領選における政・財関係の展開、今後の展望、また第2期エリツイン政権についての見通しなどを聞いた。

なお、「政治工学センター」(Center for Political Technologies)は非政府、非営利の新進のシンクタンクである。所帯は大きくないものの、少数精鋭で、今回の大統領選でもブーニン所長らの鋭い分析がたびたびマスコミで紹介されていた。エリツイン陣営も、選挙戦略を策定するにあたって政治工学センターの分析を取り入れたといわれている。